

「ラオデキヤにある教会」

黙 3 : 14～22

1. はじめに

(1) 黙示録の3区分

①黙 1 : 19 は、黙示録を3区分している。

**Rev 1:19** **そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。**

①「今ある事」(2～3章)の内容は、アジアにある7つの教会への手紙である。

②今回は、ラオデキヤにある教会を取り上げる。

2. アウトライン

(1) ラオデキヤにある教会 (3 : 14～22)

①宛先

②賞賛

③叱責

④奨励

⑤約束

3. 結論 :

(1) ラオデキヤにある教会から学ぶ教訓

(2) 7つの教会への手紙のまとめ

ラオデキヤにある教会について学ぶ。

I. ラオデキヤにある教会

1. 宛先 (14節)

**Rev 3:14** **また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。／『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。**

(1) ラオデキヤという町

①フィラデルフィアから約65キロメートル南東に位置する裕福な町

\*フィラデルフィアからコロサイに向かう途中にある町

②この手紙が書かれる約35年前に、地震によって破壊されたが、再建された。

\*再建できるほどの富があった。

③主要な産業は、金融、羊毛製品、製薬であった。

④パウロがこの町を訪問したという記録はないが、彼はラオデキヤ教会を祈りに覚えていた。

Col 2:1 あなたがたとラオデキヤの人たちと、そのほか直接私の顔を見たことのない人たちのためにも、私がどんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。

Col 4:16 この手紙があなたがたのところで読まれたなら、ラオデキヤ人の教会でも読まれるようにしてください。あなたがたのほうも、ラオデキヤから回って来る手紙を読んでください。

## (2) キリストの自己紹介

### ① 「アーメンである方」

\*イザ 65:16の「まことの神」は、「the God of amen」である。

\*これは、旧約聖書では神のタイトルである。

\*人間世界の出来事の背後に、神の主権がある。

\*神の約束はすべて成就する。

2Co 1:20 神の約束はことごとく、この方において「しかり」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン」と言い、神に栄光を帰するのです。

### ② 「忠実で、真実な証人」

\*黙 1:5と3:7で語ったことの繰り返しである。

\*キリストは神である。

\*真実な情報を共有することが、問題解決の始まりである。

### ③ 「神に造られたものの根源である方」

\*キリストは、天地が創造される前から存在していた方である。

\*キリストは、被造世界に対して権威を持っておられる。

\*これは、ラオデキヤの教会向かって厳しい言葉を語るための準備である。

## 2. 賞賛

(1) ラオデキヤの教会に関しては、賞賛のことばがない。

①キリストにとっては、受け入れがたい教会であった。

②牧師も信徒も、忌むべき霊的状态にあった。

③パウロの時代から、この教会は霊的に危険な状態にあったと思われる。

Col 4:17 アルキポに、「主にあって受けた務めを、注意してよく果たすように」と言ってください。

## 3. 叱責 (15~17節)

(1) 15~16節

Rev 3:15 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

Rev 3:16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあな

**たを吐き出そう。**

- ①キリストは、この教会の問題を知っておられる。生ぬるいこと。
- ②古代世界では、宴会や宗教行事の席上、熱い飲み物か冷たい飲み物が出された。
- ③生ぬるい飲み物は飲まなかった。
- ④キリストも、生ぬるい飲み物を口から吐き出す。
  - \*生ぬるい飲み物とは、ラオデキヤの教会の信徒たちである。
- ⑤この叱責は、この町の水供給の状況を背景としたものである。
  - \*数キロ北にあるヒエラポリスから地下水路を通して水が運ばれた。
  - \*ラオデキヤに着くころには、その水は生ぬるくなっていた。
  - \*ラオデキヤの水を飲んだ人は、思わず吐き出しそうになった。
  - \*一方、ヒエラポリスでは、温泉が湧いていた。
  - \*また、コロサイでは、冷水が泉から湧いていた。
- ⑥キリストは、冷たいか熱いかであって欲しいと言われた。
  - \*冷たいとは、信仰に無関心な状態である。
  - \*熱いとは、信仰熱心な状態である。
  - \*生ぬるいとは、この世と妥協し、キリストを心から締め出している状態である。
  - \*これは、信仰を告白しながら救われていない人と、救われてはいるが霊的に成長していない人の両方を指すと考えられる。

(3) 17 節

**Rev 3:17 あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。**

- ①霊的に生ぬるいという証拠が上げられている。
- ②物質的な豊かさに満足し、自らの霊的貧しさに気づいていない。
- ③彼らは、霊的に盲目である。
- ④キリストの厳しい評価に注目すべきである。
  - \*みじめで、哀れで、盲目で、裸の者である。

4. 奨励 (18～19 節)

**Rev 3:18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現さないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。**

**Rev 3:19 わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。**

- (1) 通常金ではなく、火で精錬された金をキリストから買う。
  - ①この町は、金融業によって富を蓄積していた。
  - ②火で精錬された金とは、神の義のことか、神に栄光を帰す信仰のことであろう。
  - ③これは、彼らを真に豊かにするものである。
  - ④これは買えるものではなく、信仰によって受け取るものである。
  
- (2) 裸の恥を現さないために着る白い衣を買う。
  - ①彼らは、美しい衣をまとっていた。
  - ②ラオデキヤの産物として有名なものは、黒い羊毛で作った黒い上着である。
  - ③しかし、その衣ではなく、白い衣を買うように命じられた。
  - ④この衣は、霊的裸を隠すための義の衣の象徴である。
  
- (3) 目に塗る目薬を買う。
  - ①エスクラピウス神殿(ギリシア神話の名医)があった(ペルガモと同じ)。
  - ②その神殿の中に、医学学校があった。
  - ③そこでは、中近東でよく見られる眼病を直すための軟膏が売られていた。
  - ④しかし、ラオデキヤの信徒たちが必要としていたのは、霊的洞察力である。
  - ⑤それは、聖霊によって与えられるものである。
  
- (4) キリストの叱責は、愛に基づくものである。
  - ①もし愛していないなら、キリストはこの教会を無視するはずである。
  - ②それゆえ、信徒たちは熱心になって、悔い改める必要がある。

## 5. 約束(20~22節)

### (1) 20節

**Rev 3:20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。**

- ①絵画的表現で、キリストの約束が語られている。
- ②これは、未信者への勧告ではなく、信者への勧告である。
  - \*適用として未信者に語るのは構わない。
- ③信者の責務
  - \*キリストを心の中から締め出していたという認識
  - \*キリストが外に立って戸をたたいておられるという認識
  - \*キリストの声に応答して戸を開くという行動

④キリストの約束

\*キリストは、その人の心に入ってください。

\*キリストは、その人と食事をしてください(親密な交流)。

(2) 21 節

Rev 3:21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

①勝利を得る者とは、キリストの招きに応答し、心にキリストを迎える者である。

②その人には、キリストとともに御座に着き、キリストの勝利に与ることが約束される。

\*これは、千年王国での約束である。

(3) 22 節

Rev 3:22 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。』』

①ここでも、約束の最後にこの勧告が語られる。

②これが、7つの手紙の最後の勧告である。

結論：

1. ラオデキヤにある教会から学ぶ教訓

(1) ラオデキヤとは、「人々が支配する」という意味である。

(2) この教会は、「背信の教会」の型である。

(3) 年代的には、1900年から現代に至るまでの期間である。

①主イエスを締め出している教会

②終わりの時代の教会

③自由主義神学の教会

④エキュメニカル運動の教会

⑤生ぬるく、役に立たない教会

⑥建物や富を誇り、霊的貧しさに気づいていない教会

⑥この世の楽しみや成功に関心が向かい、キリストが締め出されている教会

(4) 黙 3 : 20

Rev 3:20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をす

る。

①これは、教会全体ではなく、個人への呼びかけである。

- ②各人は「自分という家」の主人であり、内側からその家を守っている。
- ③戸を開くかどうかは、主人の決断にかかっている。
- ④「生ぬるい」とは、キリストが心の外におられる状態である。
  - \*まだ救われていない人状態
  - \*救われてはいるが、霊的に成長していない状態
  - \*どちらに属している人なのかを判断するのは容易ではない。
- ⑤キリストを心に迎える人が増えれば、教会全体に霊的覚醒（目覚め）が起こる。
- ⑥場合によっては、背教の教会を去って聖書的な教会に集う必要もあるだろう。

## 2. 7つの教会のまとめ

- (1) キリストから教会に宛てられた個人的手紙であり、最終的な勧告である。
- (2) 紀元1世紀に存在していた7つの教会は、今日の教会の7つの型である。
- (3) 7つの教会が抱えていた問題は、そのまま、今日の教会の問題でもある。